



# 前進

第12号

1月26日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

## ◎素晴らしい1年になることを願って

令和5年の元日から時間が過ぎましたが、今年もよろしくお願ひ申し上げます。

今年も職員が生けてくれた美しい花と正月飾りで児童玄関を整え、始業式に子供たちを迎えることができました。新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスの感染症対策、世界的な平和の問題など社会的に不透明な情勢が続きますが、子供たち・保護者・地域の皆様にとって素晴らしい1年になることを願っております。

本校も子供たちのより良い成長をめざし、今年も職員総体で教育にあたっていきたいと思います。



## ◎凍てついた朝

1月25日（水）は、「10年に1度の寒波」の到来ということで、芦北町も大変冷え込みました。右の写真は25日の早朝に佐敷小学校の様子を撮影したものです。雪はあまり積もっていませんでしたが、駐車場はうっすら凍っており、滑る危険がある状況でした。

3時間の遅延登校につきましては、概ね時間通りに子供たちを送り出していただき、保護者の皆様には大変お世話になりました。子供たちは登校中の転倒によるけがもなく、安心したところです。とにかく寒い一日でした。教室はエアコンが入ってますので暖かさを感じますが、廊下を通る風の冷たいこと。それでも佐敷小学校の子供たちは登下校時に雪玉をつくったり、氷を触ったり、「風の子」を感じさせる1日でした。



## ◎ボランティアありがとう

寒い朝も、登校してから黙々とボランティアで掃除をしてくれる子供たちがいます。冬になり校庭の落ち葉がかなり少なくなったので、最近では児童玄関の掃除を頑張ってくれています。

朝のボランティアは本校の良き伝統です。教務主任を始め、多くの先生方も参加してくれています。あくまでもボランティアですので強制はしていません。学校のため、みんなのために朝の貴重な時間に取り組んでくれている様子を見ると「自分のため、人のために考動する元気いっぱいさしきっ子」の重点目標が具現化されているようで、嬉しく感じます。来年度以降もこの素敵な伝統が受け継がれていることを期待しています。朝から子供たちとあいさつを交わし、一緒に箒を動かしながらたわいもない話をするのが、私の楽しみの一つにもなっています。



## ◎持久走を頑張っています

冬シーズンの風物詩、持久走を頑張っています。朝のランニングタイムに加え、体育の時間にはタイムを計りながら走っています。外での活動で、子供たちが密になる心配も少ないことから、できる限りマスクを外して行っているところです。新型コロナウイルスの感染状況から、室内での学習活動にはまだ多くの制約がありますが、徐々に通常の生活が戻ってくることを期待しています。



## ◎食育の学習場面

県教育委員会の指定を受け、令和2年度から本校は食育に力を入れて取り組んでいます。写真にあるように、学校栄養職員の本井先生が授業に入り、食の大切さについての学習も進めているところです。私たちにとって食の大切さは普遍です。今後ともご家庭と連携した取組を進めていきますので、ご協力をよろしくお願いいたします。



【校長室から】室内での学習活動については、様々な制限を行っていることを先ほど述べたところです。例えば鍵盤ハーモニカの演奏については、実際に音を出さずに指遣いだけの練習を行っています。すると子供たちも指遣いだけに集中し敏感になるようです。2年生の学級では、子供たちが教え合いながら「ここは3の指だよ。」など優しくアドバイスし、うまくできたときは「やったー。」と喜び合う素敵な場面を見ることができました。